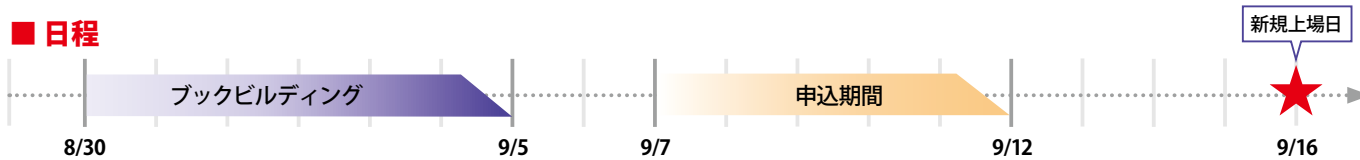


IPO銘柄 ノムラシステムコーポレーション (3940・JASDAQ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹証券
3940	100 株	公募: 34.20 万株 売出: 13.45 万株 (OA7.14 万株)	920 円 ~ 960 円 (10.0 倍)	みずほ証券



SAPによるERPソリューション事業を展開

■ 事業内容

独SAP SEが提供するSAP ERPの導入コンサルティング、保守サービスなど、ERPソリューション事業を手掛ける。人事ソリューションテンプレート「Jet-One」はSAPジャパンのALL in-Oneソリューションの認定を取得した。人事分野だけでなく、資産除去債務ソリューションテンプレートの「Zex-One」など、それ以外でもオリジナルソリューションテンプレート作成を行っている。SAP導入プロジェクトでは、いわゆる下請だけでなく、人事分野での元請け案件受注も可能という点が強み。ERPソリューション事業の単一業態。

■ 特徴

SAP SEは欧州最大級のソフトウェア会社で、大企業、公的機関といった比較的規模の大きい法人向けERP市場において世界で圧倒的シェアを持つ。ノムラシステムコーポレーションは01年にSAP SE社の日本法人であるSAPジャパンとサービス・パートナー契約を締結。その後は自社でSAP認定コンサルタント資格取得を推進しており、より付加価値の高いサービスの提供を図っている。

アナリストコメント

■ 定量分析

16年12月期の非連結経常利益は前期比9.9%減の2億3,400万円を予想する。人件費の増加、販売管理費の増加を吸収できずに減益となる見込みで、足元の成長力はやや物足りないものとなっている。企業のIT投資減速が懸念材料となっている。

■ 定性分析

システム導入コンサルティングは、派手な成長株を好むIPOマーケットで目立たず、地味なイメージがある。既に類似上場企業が多く存在しており、新鮮味が乏しい。今期の業績予想が減益見込みであることも、敬遠材料となってしまうようだ。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は5億円程度と軽量感が強い。ベンチャーキャピタル保有株もなく、需給面は非常に良好となっている。9月中旬の上場案件だが、16日は同案件の上場であるため、初値買いの分散も心配しなくてよい。(小泉健太)

■ 類似企業

ノムラシステムコーポレーション (3940・JASDAQ)	予想PER10.0倍 (仮条件上限)
システム情報 (3677・JASDAQ)	予想PER13.2倍
アイ・ピー・エス (4335・JASDAQ)	予想PER16.3倍

■ 引受証券

みずほ証券、SMBC日興証券、いちよし証券、SBI証券、岡三証券、エース証券、岩井コスモ証券、マネックス証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
14年12月期(実績)	2,095	15.3	226	2.2 倍	141	3.1 倍	99.6	0.0
15年12月期(実績)	2,268	8.2	260	15.0	163	15.1	114.6	0.0
16年12月期(会社予想)	2,300	1.4	234	▲9.9	147	▲9.4	96.5	0.0

※ 16年5月に株式分割(1株→100株)を実施。14年12月期、15年12月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
14年12月期	14,190	1,489	1,190	100	838.7	79.9	12.6
15年12月期	14,190	1,669	1,359	100	957.9	81.4	12.8

※ 14年12月期および15年12月期のBPSは遡及修正

大株主上位(上場前)

氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1 野村 芳光	1,345,500	87.44
2 大山 亨	34,500	2.24
3 有賀 滋	20,000	1.30
4 酒井 秀和	16,500	1.07
5 黒沢 利行	15,000	0.97
6 根本 康夫	10,000	0.65
6 内山 勉	10,000	0.65
6 吉田 勤	10,000	0.65
9 関口 由実	4,000	0.26
10 酒枝 英俊	2,500	0.16

経営陣

役職	氏名
代表取締役	野村 芳光
取締役 コンサルティング事業部長	根本 康夫
取締役 営業企画部長	有賀 滋
取締役	酒井 秀和
監査役(常勤)	富谷 正明
監査役	古藤 全海
監査役	田部井 修

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO^(※1) レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング^(※2) が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering) : 新規株式公開。

※2 ブックビルディング : 引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。